

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

世界史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

I

問1 (1)ムハンマド(2)西ゴート(3)カール=マルテル(4)シーア (5)バグダード

問2 イベリア半島のキリスト教徒による国土回復運動

問3 ウマイヤ朝の時代には、アラブ人ムスリムであればハラージュが免除されていたが、アッバース朝期に入ると、アラブ人であってもなくともハラージュを支払うことになったから。

問4 (6)グプタ (7)マヌ (8)玄奘 (9)ゴール

問5 名称 ガンダーラ美術(1点)

特徴 ギリシア彫刻の手法をとり入れた仏教美術であった。(1点)

問6 ヒンドゥー教徒の社会の仕組みには介入せず、ジズヤを徴収するにとどめていた。

問7 (1 0)百済 (1 1)大蔵経 (1 2)李成桂 (1 3)朱子

問8 氏族的な身分制度

問9 朝鮮では、清朝の風俗が中国風ではないことからこれを夷狄とみなして軽蔑する意識が強く、ついで清の中国支配の確立によって中国も夷狄の風俗に染まったと考えるに至った。その結果朝鮮こそ中国文明の正統な継承者であるとする意識が強まったから。

II

問1 (1)ヘロドトス (2)王の道 (3)スサ

問2 サトラップ(サトラブも可)

問3 宗教祭儀の場となっていた

問4 楔形文字

問5 (1)年齢による扱いの差が設けられるべきか (2)棄教者は赦されるべきか  
(3)キリスト教徒であること自体が罪となるのか

問6 (1)キリスト教徒であること自体が罪となる  
(2)キリスト教徒の積極的な探索を禁じる  
(3)棄教者は赦される

問7 犠牲を捧げ、神酒を注ぎ、供物の獣肉を賞味する

問8 (1)棄教する (2)供犠を拒否して殉教する

問9 トラヤヌス帝の時代にはキリスト教徒であること自体が罪であると見なされたが、信徒を積極的に探索し摘発することはせず、事実上黙認されていた。三世紀中頃になると、帝国の安寧のために祈ることを拒否するキリスト教徒に対し、帝国は組織的な迫害に乗り出すようになった。

〔A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象〕

## 世界史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

## Ⅲ

問1 X 朝鮮 Y 清 Z 日本

問2 (b) 朝貢 (冊封) (d) 朝貢 (冊封) (f) 日朝修好条規 (g) 朝貢 (冊封)  
(h) 日清修好条規

問3 朝鮮通信使

問4 二国間に正式な外交関係は樹立されず、清の商人が日本の長崎に来航し、通商を行う関係。

問5 史料1 (f) 史料2 (h)

問6 清との伝統的外交(朝貢)関係(宗主国と属国の関係)を否定している。

問7 福沢諭吉 脱亜論

問8

朝鮮(のち大韓国)は、日本と史料1(日朝修好条規)の締結により開国したが、一方では「自主ノ邦」との位置づけとは裏腹に、清との伝統的外交関係は維持された。そして1880年代前半の壬午軍乱、甲申政変をへて清の朝鮮に対する支配力は増大・強化されたが、清の日清戦争敗北により締結された下関条約により、朝鮮は「独立自主国」となったが、1905年の日韓協約により、外交権を失った。

## Ⅳ

問1

① 露土戦争

② 東方問題

16世紀に最盛期を迎えたオスマン帝国は、ヨーロッパに対し劣勢となり、国内では地方勢力の台頭に苦しんだ。ロシアの南下政策やイギリスの介入など、オスマン帝国の弱体化に伴うヨーロッパの干渉などの外交問題をいう。

③

両国は、すでに1853年ロシアがギリシア正教徒保護を口実にオスマン帝国に宣戦したクリミア戦争を戦っていた。その際、イギリスとフランスがオスマン帝国側についたため、ロシアは敗れた。その後、ロシアではアレクサンドル2世のもとで農奴解放などの改革を進めた。ポーランド人の独立運動を機に再び専制政治に戻り、国内では政治的不満が募った。他方、オスマン帝国でも財政危機の中で立憲制を目指す改革が試みられ、ミドハト憲法が公布された。1877年ロシアはパン=スラヴ主義を掲げてオスマン帝国に宣戦した。ロシアは戦争に勝利したが、その南下政策にイギリスとオーストリアが反発し、列国の利害調整が図られ、ロシアの南下は封じられた。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

## 世界史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

問2

① フランス

②

ビスマルク失脚後、親政を始めたヴィルヘルム2世は、「世界政策」の下で積極的な膨張政策を進めた。特にバグダード鉄道を中心に推進した3B政策は、3C政策をとるイギリスと対立した。このドイツの挑戦を受けたイギリスは、単独で抗しきれずに英仏協商と英露協商を相次いで結び、ドイツに対抗しようとした。これに既に結んでいた露仏同盟があったため、三国協商とよばれるイギリス・フランス・ロシア陣営が築かれることとなった。

問3

① ゴルバチョフ

チェルノブイリ原発事故

②

ペレストロイカと呼ばれる改革は、グラスノスチ（情報公開）を理念として言論の自由など政治的自由化を進め、計画経済を基調としつつも市場経済の導入を図った。

問4

この条約によってソ連の中立を確保したドイツは、9月にポーランドに侵攻した。他方、ソ連軍も東から侵攻したために、ポーランドは両国によって分割占領された。

問5 連帯